

附属幼稚園だより 第20号

令和3年 3月23日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が
いっぱい幼稚園

令和2年度 たいへんお世話になりました

桜並木の桜がとってもきれいです。春ですね。

一年前、ドキドキワクワクしながら、附属幼稚園に来たときのことを思い出します。園長1年生で、自信はなかったけれど、それよりも大好きな幼稚園に来ることができた喜びの方が大きかった春でした。

この一年間、子どもたち、保護者にとって、居心地のいい幼稚園づくりはできただろうか。子どもたちを伸ばすことはできただろうか。良い保育ができるよう教師の力量を高めることはできただろうか。結果は自分ではよく分かりませんが、その三つを常に目指して進んできたつもりです。

今年度も終わろうとする頃、「ちょこっとメモ」を提案させていただきました。早速、活用していただき、ありがとうございます。お子様のつぶやきなど教えていただいて、ほっこりすることもありました。「こんなふうに考えていらっやっただな。」と保護者の悩みを共有することができたこともありました。感謝の気持ちをお手紙で表してくださって、たいへん励みになることもありました。

私たちの一番の願いであり、責務は、子どもを伸ばすことです。これからも、保護者の皆様と一緒に一人一人を伸ばしていきたいと思えます。

育友会活動を始め、保護者の方々の御協力に支えられ、この1年歩んでくることができました。心から感謝申し上げます。

修了式で子どもたちに「あいさつと、自分の荷物を自分で持つことを頑張ろう」という話をしました。

4月7日、いつものように桜並木で待っています。

一つ進級した子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

